

「相談支援部会」中間報告について

1 部会議事について

【第19回】（平成23年2月28日開催）

（1）事業所間の連携について

ライフステージごとの支援について各機関の連携体制の検討していく中で下記のような問題提起があった。

- ・発達障害がみられた子の親に対する啓発（2次障害を起こさないためにも発達障害の特性や子に対する対応の仕方などの理解を親に促すことの必要性）。
- ・健康課から情報を幼稚園保育園に引き継いだ場合、フォローを始めた時と比べ、程度が軽くなっている場合もある。その場合先入観を持って対応されるおそれがあるため、情報提供をしないほうが良いのではないか、という意見がある一方で、幼稚園保育園では、事前に支援の仕方がわかると助かる、という意見もあった。
- ・幼稚園保育園は送り迎えで親の様子を知ることができるが、小学校に入るとわからなくなってしまうという意見や、支援が必要な親を持つ子が入学してきたとき情報が無いと大変であるなど、子の情報も必要だが、親の情報も共有したいという意見があった。

（2）相談支援事業所の活動報告について

社会福祉協議会およびこころ悠々より活動を報告

2 総括

- ・ライフステージごとの支援について、まずは就学前までの支援について連携を強化していく。そのため健康課の保健師に相談支援事業所の活動内容を知ってもらう場を設けて連携の強化を図る。

3 今後の検討課題と問題点

検討課題として

- ・情報共有に関するシステムの検討

問題点として

- ・個人情報保護をどうするか。